http://nstokyo.info

市民と文化

C=Culture
A=Art
P=Promotion

市民・街・文化をネットワークする「はーもにぃ」(西東京市文化芸術振興会)

第26号
2016年11月1日発行
発行人　海老澤 敏
編集人　西田 克彦
TEL:080-1164-5253

20万都市にふさわしい市民文化ホールの建設を！

新ホールについて一緒に考えてみませんか！

西東京市文化芸術振興会では、20万都市となる西東京市にふさわしい市民文化ホールに関する第一次試案を公表しました。（「市民と文化」第25号）これは、現在建て替えが検討されている西東京市民会館の、いわゆる「3館合築問題」とは切り離した形で、西東京市の文化芸術振興において最もふさわしい文化ホールのあり方を検討した上で発表したものです。

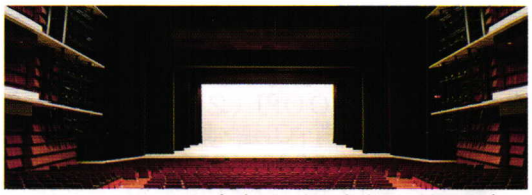
本号ではQ＆A形式で、なぜ新ホールが必要なのかを検証します。

Q1．今でも市民会館や保谷こもれびホール等がありますよね？

A．たしかに西東京市には、旧田無市が1969年に建設した市民会館公会堂（502席）と1999年建設のコール田無（165席）、旧保谷市が1997年に建設した保谷こもれびホール・メインホール（662席）と小ホール（250席）があります。どちらも当時の自治体の規模に応じて建設されたため、合併し20万都市となる現在では規模が小さいのが現状です。

そこで、20万都市となる西東京市にとって、どのようなホールが必要なのかという視点で考えたのが、1,300人～1,500人規模の文化ホール構想です。

これは市が先般公表した、西東京市公共施設等総合管理計画～公共施設等マネジメント計画（案）の中にある「20万都市にふさわしいホール機能の観点から、本市における文化施設のあり方を検討します」との市の計画にも合致しています。



いわきアリオス大ホール（1705席）
PFIにより2008年に建築（HPより）

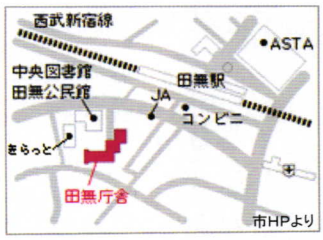
Q2．なぜ1,300～1,500人規模なんでしょうか？

A．1,300～1,500人という規模に設定した理由は、採算性、稼働率、運営コスト等を勘案して、効率よく運営できる最小規模ということです。

大きなホールは満席になれば収入も大きいのですが、稼働率は下がってしまいます。これに対し、現在のこもれびホールのメインホールでは人気の高いアーティストの公演を行いたくても、キャパが小さいため採算ベースに乗らないのが現状です。

したがって稼働率も上がり、人気のある公演を行っても採算の取れそうな規模が1,300人～1,500人ということになります。

Q3．いつ、どこに、どうやって建設するのですか？



A．いわゆる「ハコモノ」を建設することになるので、様々な条件をクリアする必要があります。時期は田無庁舎が寿命を迎える2032年以降、場所は田無庁舎の跡地を第一候補と考えています。

田無駅の乗降客数は市内5駅で最も多く、その田無駅に近い田無庁舎の跡地に民間活力を導入するPFI等の手法で大型商業施設等との複合ビルを建設し、極力税金を使わない方法でホールを建設するのが現実的な案だと考えています。

その頃にはこもれびホールも35年を迎えるので、次期のホールを検討する時期になります。

このように、すぐに新ホールを建てるということではなく、3館合築問題、庁舎統合問題等が解決された後、最適な場所に最もお金をかけない方法で新ホールを建設するべきであるというのが当会としての提言です。みなさんのご意見によりこの構想をさら進化させ、ぜひ実現させたいと思っています。みなさんの忌憚のないご意見をお待ちしています。

会員イベント・ニュース！

■Kids ミュージカルファクトリー

●子どもミュージカル ワークショップ発表公演　「Friendship～ともだち」
保谷こもれびホール　　入場料　500円
12月23日（金・祝）　①15:30～　②18:30～
12月24日（土）　　③13:00～　④16:30～
・今年も2014年に引き続き「子どもミュージカル ワークショップ」がホール共催事業として帰ってきました!!
小学４年生から６年生までのワークショップ参加３１名の4ヶ月間の集大成のミュージカルを楽しみに！
問）松本　080－5492-7217　Mail　kids_mf@yahoo.co.jp

■ウェスト・ファン・ジュニア

●子ども文化フェスティバル
西東京市民会館　　２０１７年１月２２日（日）　　入場無料
子どもたち総勢７０名のダンスステージ　HOBの皆さんとの共演ステージもあります
●東久留米市市民プラザイベント　２０１６年１１月２７日（日）
●東久留米イオンモールイベント　２０１６年１２月２５日（日）　に出演予定
問）Mail　westfunjr@gmail.com

■シテ方観世流 小早川家

１２月９日（金）　１８:００　宝生能楽堂 銕仙会「安達原」（シテ 小早川修）
入場料　６５００～４０００円
・読謡会予定　　九段生涯学習会館
１１月１３日（日）「安達原」　・１２月１１日（日）「綾鼓」　１０:００～１２:００
入場料　２０００円　学生５００円　小学生以下２００円　要予約
問）Mail　kobayakawa_o@yahoo.co.jp　電話＆FAX　042-462－9350

■西東京フィルハーモニーオーケストラ 第22回定期演奏会

2017年1月28日（土）　１４:００開演（１３:３０開場）
保谷こもれびホール メインホール　　入場料 １０００円（全席自由）
指揮：神田慶一（国立オペラ 青いサカナ団 音楽監督）
【プログラム】・ラヴェル：高貴にして感傷的なワルツ　・ボロディン：交響曲 第２番
・ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（１９１９年版）
問）080－1164-5253（西田）Mail　ntpo-box@hotmail.com　HP　http://ntpo.exblog.jp/i2
●１２月２日（金）１８:００～薫風会クリスマスコンサート（山田病院ロビー）西東京フィルメンバーによるアンサンブル

■第４１回 秋耕会展　　国立新美術館

２０１７年2月6日（月）～2月１９日（日）
入場料 ５００円（２名様まで有効）　７０歳以上は自己申告により無料
・芸術（絵画・工芸・彫刻・写真など）の公募・展示
問）090－3599-4652　木村かのん　Mail　fibartkk@tk2.so-net.ne.jp

■子どもげきじょう西東京　西東京ふれあいこどもまつり２０１７

保谷こもれびホール　２０１７年1月２９日（日）
●『プリンセスシアター ～お姫さま ＆ 王子さまになって歌って踊ろう！～』
１１:００～１１:４０（１０:４５開場）　保谷こもれびホール 音楽練習室
対象：未就学児親子 １５組　　出演：長谷川翠花、泉岡まさよ　参加費：無料（要予約・先着順）
●『Tweet☆Sweet♡コンサート』
１６:３０～１７:３０（１６:１５開場）　保谷こもれびホール 小ホール　対象：小学生以上（高学年最適）
出演：飯野薫（オペラシアターこんにゃく座）、泉岡まさよ　他
参加費：大人２０００円　子ども１５００円　親子券３０００円（全席指定）
問）子どもげきじょう西東京　Email　kodomogekijont@yahoo.co.jp

■ザロモン室内管弦楽団 第3回演奏会

2017年2月5日（日）　14:00開演（13:30開場）
保谷こもれびホール メインホール　入場料 1500円（全席自由）
指揮：岡田龍之介
【プログラム】・ガブリエリ：カンツォン集（金管合奏）　・ケルビーニ：「アナクレオン」序曲
・テレマン：管弦楽組曲「ハンブルクの潮の干満」　・ハイドン：交響曲 第48番「マリア・テレジア」
問）Mail　info@salomonco.org

■西東京市民映画祭2016　第15回自主制作映画コンペティション

2016年11月19日（土）　上映開始：13:00～　表彰式：18:00～
保谷こもれびホール メインホール　司会：瀧川鯉ん　　入場無料
・全国より応募のショートムービー（20分）の中から予選通過作品を上映、優秀作品賞や観客の投票により選出された「観客グランプリ賞」等が決まります。　問）042-452-6323（山本）Mail　center@nishitokyo-cinema.com

■瀧川鯉ん　落語会

11月6日（日）佐世保かっちぇて落語会（長崎県佐世保市）　出演：瀧川鯉昇、春風亭昇太、瀧川鯉ん
12月23日（金・祝）　花園文化会館（新宿）

■西東京市民文化祭　【器楽の部】　11月6日（日）　コール田無　15:15～

AR★TE（アルテ）　岡内淳子（ピアノ）クラシック・ミュージカル名曲など
ノーザンシックス・ビッグ・バンド

■西東京市民吹奏楽団 ウインドアンサンブル和 いずみファミリーコンサートVol.5 クリスマスコンサート

１２月１８日(日)１４:００開演（１３:３０開場）こもれびホールメインホール　入場無料（お子様もご一緒に！）
・小編成のアンサンブルから全員でのにぎやかな合奏まで、Xmasを楽しく盛り上げる曲を揃えてお待ちしています。
問）050-5848-9764　　Mail：apricot@gwinds.net　　HP　http://sound.jp/fontana/

～西東京から翔び立つ～若きアーティスト！ Vol.1

文化芸術振興会は、会の目的のひとつとして若いアーティストの支援・育成を掲げています。これまでも2回にわたり「フレッシュ・ニューカマーアーティスト」として、器楽と声楽の若きアーティストのコンペティションを行い、チェロ奏者の矢口里菜子さんはビバホールチェロコンクールでも優勝し、世界に羽ばたいています。

「市民と文化」では今号から様々なジャンルの若いアーティストをシリーズでご紹介してまいります。まずトップバッターは「オペラシアターこんにゃく座」所属の俳優として活躍中の飯野薫さんです。元気いっぱい全国の学校公演等に飛び回っています。

①出身は？（幼稚園、小、中はどこ？）

飯野「ご近所の練馬区南大泉で生まれ、幼稚園の頃、保谷に引っ越してきました。保谷幼稚園、東小学校、富士見中学高校出身です。」

②どんな子どもでしたか？

飯野「兄が二人いるので、いつも二人にくっついて逞しく遊んでいました。ボーイスカウト活動に参加してキャンプや山登りをしたり、幼稚園ではセーラームーンごっこもやりましたが鉄棒の方が好きで、毎日くるくる回っていました。」

③舞台にふれるきっかけは？

飯野「こども劇場の例会でお芝居を観たり、母がミュージカルやお芝居に連れていってくれたり、幼い頃から舞台を観ていました。初めて舞台に立ったのは小学4年生の時。幼馴染みのお姉さんがこもれびホール主催の「子どもミュージカルワークショップ」に参加していて発表公演をこもれびホールの大ホールでやっているのを観て私もやりたい！と応募しました。」

④この道に進むきっかけは何？

飯野「子どもミュージカルワークショップです。すっかりキラキラの舞台に魅了されてしまいました。半年間のワークショップの集大成の発表公演が終わると、ワークショップを終えた子ども達がもっとミュージカルがやりたい！と講師の先生に頼んで出来た、西東京市内で活動しているミュージカルサークル「kidsミュージカルファクトリー」に入り、ダンスや歌やお芝居のレッスンを受けたり、発表会ではオリジナルミュージカルを公演していました。歌ったり踊ったりお芝居したりすることが大好きで夢中になって続けていたら、あっという間に大人になり気付いたら今に至ります。」

⑤この道に進んだことについてのご家族の反応は？

飯野「中学受験をして進学校に進み、私もそう思っていたし、両親もきっと大学進学すると思っていたと思います。なので両親にこの道に進みたいと打ち明ける時は緊張しました。それから、小学生の頃からずっとお世話になってきた、私の第二の親みたいなkidsミュージカルファクトリー講師のごんどうけん先生、泉岡まさよ先生に話す時も。みんなずっと応援してくれています。」

⑥なぜ、こんにゃく座に？

飯野「私は高校卒業後、桐朋学園芸術短期大学芸術科演劇専攻に進んだのですが、そこではミュージカルとは違うもっと色々な演劇や舞台の面白さを知りました。学生時代にこんにゃく座を観に行く機会があり、初めて観たこんにゃく座のオペラは難しくないしとても面白かったです。ピアノの生演奏、マイクを使わないのに客席まで届く、言葉がはっきりとわかる発声、喋るように歌い、歌でお芝居をしている歌役者さん達。私のやりたい事はこれかもしれない！と思いオーディションを受けました。こんにゃく座は年に数回の東京公演以外の期間は一年中、学校公演を中心とした全国各地での旅公演を行っています。大好きな舞台のお仕事をしながら、色々な場所に行く事が出来るなんて楽しいんだろうなと憧れていました。実際のところ...毎日毎日楽しいです！体育館に舞台を設営して本番をして片付けて次の場所に移動するという毎日引っ越しをしているような生活ですが、子ども達の素直な反応を間近で感じられるのはとても勉強になるし、それを生かして工夫してどんどん積み上げていくことが出来るのでやりがいを感じています。各地でおいしいものを食べるのも、空き時間に観光するのもとても楽しいです！

オペラシアターこんにゃく座
オペラ「銀のロバ」ココ役

⑦今の出演舞台とこれからの夢は？

飯野「現在はオペラ「銀のロバ」の全国ツアー中です。この作品は2015年2月には保谷こもれびホールでも公演させていただきました。地元で公演、とても嬉しかったです！また、私は出演しませんがこんにゃく座の次回東京公演は2017年2月3日（金）～5日（日）まで世田谷パブリックシアターにて『想稿・銀河鉄道の夜』を公演いたします。是非ご来場ください！

これからの夢は、旅公演で47都道府県を制覇すること。残りあと10県くらいです。それから舞台を観るのが好きなので、これからもおもしろい舞台をたくさん観たいし、おもしろい作品に出演できるようなおもしろい人になりたいです！『あぁ一元気出た！明日からも頑張ろう!!』そんな明日への活力になるようなおもしろい舞台を創っていきたいです！」

※ 2017年1月29日（日） こもれびホール小ホールで、"TWEET・SWEETコンサート"に出演します。ご期待ください！

●海老澤敏レクチャーコンサートが開催される！

2016年10月16日（日）保谷こもれびホールでモーツァルト研究の第一人者・海老澤敏氏のお話しと、ピアニスト・小川京子女史（海老澤氏夫人）の演奏によるレクチャーコンサートが開かれた。当日はモーツァルトと彼を取り巻く人達（モーツァルトの父、息子、それに友人）の作品に焦点をあて、当時の楽器（フォルテピアノ＜複製＞）と現代のピアノで小川女史が演奏、二つの響きに聴衆は聴き入った。

モーツァルトの興味あるエピソードを織り交ぜながら、海老澤氏の軽妙な語り口と、小川女史の250年前の鍵盤楽器と今の時代のピアノとの明らかな違いの演奏に多くの聴衆は魅了された。このようなユニークな企画は珍しく、西東京の市民のみならず近郊からも多くの音楽愛好家が来場した貴重なレクチャーコンサートとなった。（当振興会の協力事業）

●西東京ジュニア・ユースオーケストラ　第8回定期演奏会 ～設立10周年記念コンサート～

2016年8月8日（日）保谷こもれびホールで、ジュニア・ユースオケの設立10周年記念コンサートが開催されました。

開演時間になりステージに出ていくと、会場にはとても温かな空気が広がっていました。

西東京ジュニア・ユースオーケストラの設立から10年間、指揮・指導してくださった西森光信先生が 6月に急逝し、哀しみの中で途方にくれていた時に、西森先生のご友人である指揮者の大友直人氏が「僕に出来ることでしたら」と、指揮を快く引き受けて下さいました。

大友氏とは前日と当日のスケジュールでしたが、子ども達の集中力は素晴らしく、一生懸命に大友氏の指揮についていき、たくさんの方にご来場頂き、心に残るコンサートとなりました。

●西東京市文化芸術振興会はどんなところ こんなところ

(1)「つなぐ」～人の横との繋がり～
西東京市でそれぞれの立場で文化芸術活動をしている個人・グループに「出会いの場」（交流の場）、親しみやすい内容の「ミニサロン」など「つなぐ」場を作つていきます。

(2)「考える」～縦の繋がり～
個人やグループが文化活動をしていく上でいろいろな問題があります。当会では皆さまに気軽にご参加いただける場を設けています。その場で皆さまが直面している問題を一緒に考えていきます。

(3)「行動する」～動き～
西東京市の文化向上のために、皆さまと考えた文化芸術のさまざまな問題を解決すべく、市民レベルの視点で行動していきます。また市民が考えた企画を応援していきます。

西東京での文化振興にご興味のある方、意見交換してみたい方、アイディアをお持ちの方、文化活動をされている方との交流をしてみたい方、ぜひご連絡ください！　【e-mail】paxmanm80@jcom.home.ne.jp（西田）